

巻 頭 言

医学部長 小川 良雄

昭和大学は医学部、薬学部、歯学部、保健医療学部の 4 学部を擁する医療系総合大学です。歴史的には昭和 3 年、上條秀介博士らにより創設された昭和医学専門学校（現 医学部）を源としています。上條秀介博士は、相手（患者）の立場になって真心を尽くす医療人を育成するという建学の精神を、「至誠一貫」という言葉に集約されました。私は本学の医学部学生諸君がこの精神を理解し、受け継ぎ、そしてチーム医療のリーダーとなる医師に育つと信じています。

近年の生命科学と科学技術の進歩は著しく、求められる医学の知識量と技術力は飛躍的に増大しています。このため、医学部の 6 年間で全てを修得する事は困難となっています。そのため我が国では、平成 13 年に医学教育の大改革が行われました。医学生が卒業までに必ず修得すべき知識・技術・心得を医学教育モデル・コア・カリキュラムにまとめ、全学修時間の 3 分の 2 をこれらの修得にあて、残る 3 分の 1 を各大学の個性をもった学修にあてることになりました。そして、6 年間の学修を通して、卒業後は自らが必要な知識や技術を選択し、自らの力で学修する能力を備えるという目標が加えられました。本学においてもモデル・コア・カリキュラムに準拠した実習を重視した優れたカリキュラムが作られています。目標とする医師像に順次近づくよう、各学年で実習時間が用意されています。

臨床実習は、医学教育の国際基準に対応できるように、4 年生後期から 6 年生前期までの 72 週間にわたって行います。現代の医療は多職種のスタッフがチームを作って診療にあたるチーム医療を特徴としています。そこで本学では、諸君が医療チームの一員となって診療にあたるクリニカルクラークシップを実践します。また、より良いチーム医療が実践できるよう、全学年にわたる学部連携教育を行っています。1 年次の全寮生活も、チーム医療に必須であるコミュニケーション学修の場であり、大切な実習の一つと捉えています。

本シラバスは、学生諸君がこの 1 年間に学修する内容をまとめたものです。学修単位をユニットと称し、各ユニットは綿密な計画の下に配置されています。あるユニットを理解して初めてあとのユニットが理解できるのです。ユニットごとに一般目標 GI0 : (general instructional objectives)、行動目標 SB0s : (specific behavioral objectives) が示されています。そのユニットのゴールが一般目標であり、それを達成するためのステップが行動目標です。行動目標をすべて達せられれば、そのユニットの目標は達成されます。諸君が学修する上で極めて重要な道標が本シラバスです。シラバスを読むことで 1 年間の学修の後、諸君が一段一段、目標の医師像に近づくことを理解できると思います。

医学を修め、医療を通して社会に貢献するには、多くの努力が必要です。本学学生諸君にはそのための十分な資質があります。大いなる学修成果が得られることを期待します。